

1. 事業名：福岡県地球にやさしい暮らし方しようコンテスト事業

2. 担当センター名称：

(ア) 事業担当者：越智 信雄、前原 泰雄

(イ) 電話番号：092 - 674 - 2360

(ウ) ファックス番号：092 - 674 - 2361

(エ) 電子メール：fccca@keea.or.jp

3. 事業の概要（目的）

県内の一般家庭における5年間のエネルギー（電気、ガス）使用実態を把握するとともに環境省が推奨する「家庭のできる10の取組」+ 行動を実施した場合のCO2排出削減量を福岡県環境家計簿（県民編）を使って記録・集計して、その効果を定量的に把握するとともにコンテスト形式とすることでモニターの参加意欲を高める。また、福岡県環境家計簿を使用することでその普及啓発に役立てるとともに、使用上の改善点を把握して今後の環境家計簿作成の参考とする。

4. 事業の内容（調査方法等）

（1）モニターの募集

モニターの募集は、以下に示す内容で行い、130名の応募があった。

募集期間 平成16年5月24日～平成16年7月10日

募集条件 県内在住（ただし、店舗併設などで事業活動に使う電気・ガスの区分が困難な場合は不可）

応募方法 参加希望者は、郵便、FAX、Eメールのいずれかで申し込みを行う。

募集案内方法

- ・ホームページへの募集記事の掲載
- ・市町村広報紙への募集記事掲載（6市2町）
- ・公共施設におけるポスター掲示及びチラシの配布
（17市23町5村及び3施設に依頼、配布枚数計：ポスター 99枚、チラシ 1,355枚）
- ・団体等へのチラシ送付による案内
（団体：56団体、家計簿モニター：126名、配布枚数計：チラシ 300枚）
- ・運営委員、自治体などからの紹介

なお、要望のあった団体等には出向いて概要説明を行った。

(2) 調査方法等

1) 過去5年間のエネルギー使用量調査

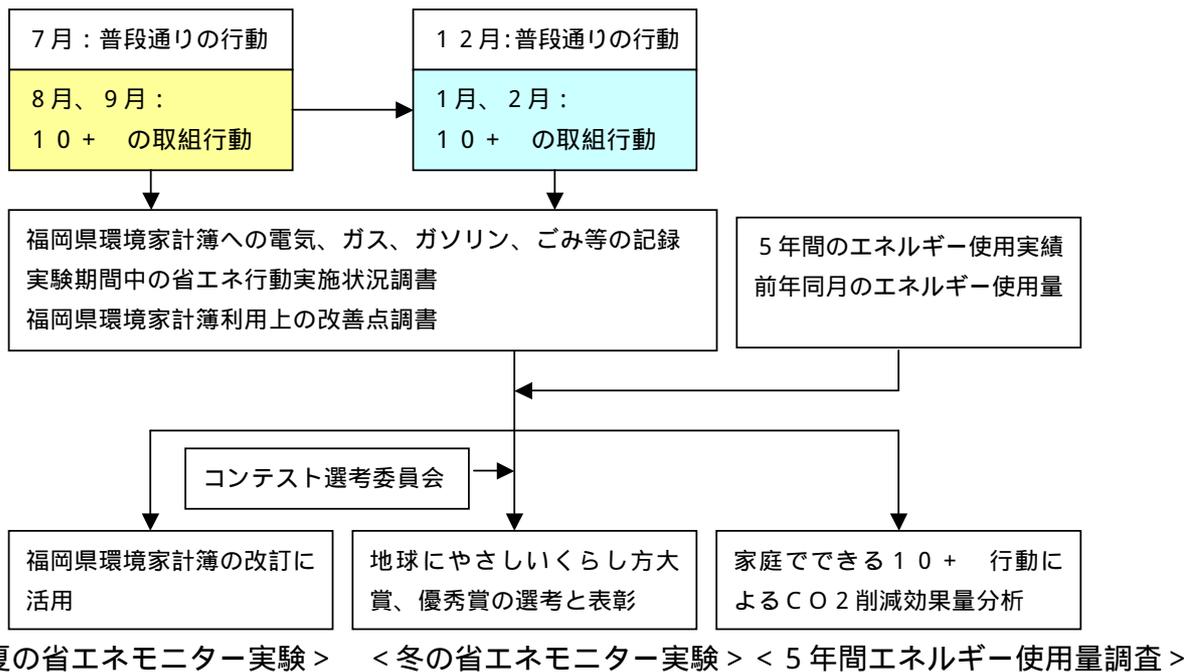
福岡県内の家庭におけるエネルギー使用量の水準を把握するために、参加モニターに対して「電気・ガス使用量のデータ提供承諾書」と現在と5年前の居住形態、家族構成、家電・ガス機器の保有状況を記入した「属性調査票」、及びこれまで取り組んできた「我が家の省エネ行動調査票」を提出してもらい、九州電力と各ガス会社から5年間分の毎月データを取り寄せ、属性別にデータ処理を行い、家庭における過去5年間のエネルギー使用実態を分析する。なお、個人データは分析結果と対比できるようにして報告書を作成し、全モニターに送付して今後の省エネルギー活動に役立ててもらおう。

2) 「家庭でできる10+ の取組」モニター実験

全モニターに対して、夏季(7月～9月)と冬季(12月～2月)の2シーズンで、普段どおりの行動を1カ月間、「家庭でできる10の取組」+ 行動を2カ月間実施してもらい、その間の電気、ガス、ガソリン(軽油)、灯油、水道、可燃ごみの量を福岡県環境家計簿に記入し、10+ の取組状況と合わせて、その結果をセンターに提出してもらおう。また、本調査の終了時には、福岡県環境家計簿の使用上の改善点や調査に参加する前と後での意識や行動の変化をアンケートする。

3) 優秀モニターの選考と表彰

過去5年間の暮らし方(エネルギー使用量と省エネ行動)や、夏・冬の省エネモニター実験の結果から、参加モニターの中で特に省エネを心がけた暮らし方を実践してきた人を別に定める選考基準で順位付けを行い、大賞、優秀者には賞状と賞金を贈呈する。なお、モニターが実践している省エネ行動事例をとりまとめた啓発冊子は次年度に作成し、啓発資料として活用する。



4) ワーキングチーム

現在、本事業に係るワーキングチームを組織しており、今後、このワーキングチーム内でコンテスト表彰者の選考基準や調査結果（5年間エネルギー調査、省エネ行動実験）のとりまとめ方針の検討を行っていく予定である。（会議は合計4回を予定しており、9月末日までに2回開催）

5. 期待される効果

現在、冬のモニター実験が実施前であること、過去5年間のエネルギー使用量調査及び夏のモニター実験の結果が完全に出そろっていないことから、現段階で地域における有効な対策技術及び期待あるいは予想されるCO2排出削減量を予想するのは難しい状況にある。

よって、ここではある程度の調査票が出そろっている過去5年間のエネルギー使用量調査の解析結果（途中段階）を示す。

6. 全体計画の工程表

実施期間		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	摘要
委託業務実施上の区分													
モニターの募集		—————											
過去5年間の エネルギー調査	調査票の配布・回収		配布・回収 —————				未提出者	への確認					
	電気・ガス使用量データの収集				依頼 —————	随時	回収						
	集計・解析						—————						
モニター実験	調査票の配布・回収		配布 —————			回収 —————		配布 —————			回収 —————		
	モニター家庭での実験の実施			夏季実験 —————					冬季実験 —————				
	集計・解析						—————					—————	
ワーキング チーム	選考基準の検討						—————						
	優秀者の選考									—————			
報告書の作成									—————				

7. 平成 17 年度以降の事業予定：

福岡県内の民生部門におけるエネルギー使用実態と CO2 排出量の変化量を継続的にモニタリングするため、平成 17 年度以降も以下の事業の計画を予定している。

<平成 17 年度事業>

IT 版福岡県環境家計簿を使った家庭用エネルギー使用実態調査及びコンテスト事業
民生業務系事業者モニターによるエネルギー使用実態（原単位調査）

<平成 18 年度～20 年度事業>

IT 版福岡県環境家計簿を使った家庭用エネルギー使用実態調査及びコンテスト事業（平成 18～20 年度）
民生業務系事業者モニターによるエネルギー使用実態（原単位）調査（平成 18，19 年度）
エコドライブモニター事業（平成 19 年度）
家庭における HEMS 導入効果量調査事業（平成 18 年度）
事業所における BEMS 導入効果量調査事業（平成 20 年度）

以上